

## 兄弟と呼ぶことを恥とせず

2024年4月14日

ヘブル人への手紙 2章10～13節  
詩篇 22篇22節  
イザヤ書 8章17～18節

序：キリストによる救いの確かさ  
聖徒たちが相続する神の御国が御子に従わせられる  
①御子によつて世界が創造された  
②御子が万物の相続者と定められた  
③御子が人となって来られ、苦難と十字架上の死によつて罪人の贖いを果たした

キリスト＝イエスの救いは、すべての人間のため  
①御使いのためではなく、神に背いたすべての人間のため  
「よい御使いは罪を犯したことなく、神と聖徒に仕えている  
墮落した御使いは、悪霊として、サタンとこの世に仕えている  
救われる可能性は皆無

主イエスの救いは、すべての罪人を救う効力がある  
しかし、信じる者にものみ適用される  
救われないのは、背きの罪を悔い改めず、信じないから（人間の側に責任）

②初め、主によつて語られ、その後はそれを聞いた人たち、目撃した人たちに  
よつて示され、さらに聖霊によつて証しされた

③本来なら、受けるはずのない神の顧みと恵みが、違反者であり敵対者である  
私たちに与えられた

④救いの方法 = 御子の謙卑（へりくだり、神の栄光と力を抑制、有限な人となる）  
（罪人のすべての罪を担い、死の刑罰を受けた）  
御子の高举（死からの復活、顕現、昇天、着座）

⑤救いの結果 = 御子に栄光と誉れ  
" 万物に従わせた

聖徒たち（教会）が御国の共同相続人となる

I. 現実における疑問 8節  
御子イエスは、神、創造主、救い主、罪と死に勝利された方、御使いよりも優れた  
方、万物の統治者、御国の相続者、栄光と誉れを与えられた

このイエスに万物いっさいが従うはず、しかし、今なおそれを私たちは見ていない  
御子によつてすべてのものが、統治されているとは言えない現実ではないか  
御子の至高性にもかかわらず、現実には救いは未完成ではないか  
：まだ、完結に向かう途上（御国の完成は進行中）

II. 疑問に対する答え  
御子イエスが万物を父にお返しになるとき（完結）は、必ず来るがまだ来ていない  
しかし、罪人の救いのための御業は完うされた  
救い主であるイエスの謙卑は見ている・知っている

①御使いよりも低くされた（わずかの間：受肉～死）  
②死の苦しみ（罪のない方が罪とされた）を受けた＝神の恵み  
すべての信者のため  
③神の目的にかなうこと

III. 神（万物の存在の目的&原因である方）のみこころ（ふさわしいこと）  
①救いの創始者を多くの苦しみを通して完全な者とする  
②多くの子ら（信じるすべての人・聖徒たち）を栄光に導く

IV. イエスは彼らを兄弟と呼ぶ

①聖とする方（イエス）も聖とされる者たち（聖徒たち）もひとつの源（神）から出ている

②イエスも聖徒たちも同じ父をもつ兄弟

実子      養子

③詩篇 22・22      ダビデの賛歌      からの引用  
わたし（ダビデ→イエス）は、あなた（神）の御名を兄弟たち（信仰者たち）に語り告げ、会衆（教会）の中で、あなた（神）を賛美しよう

❖同じ神を信じる人＝霊の兄弟  
神の家族は、御名（ご性質と御業）を語り告げ、神とともに賛美する

④イザヤ書 8・17からの引用  
私（イザヤ）は主を待ち望む。ヤコブの家から御顔を隠しておられる方を。  
私はこの方に望みを置く（信頼を置く）。

❖御子も聖徒たちも、父なる神に専ら信頼する

⑤イザヤ書 8・18からの引用  
見よ。私（わたし：主）が私にくださった子たち（神がわたしにくださった子たち）は、シオンの山に住む万軍の主からのイスラエルのしるしとなり、また不思議となっている

❖預言者イザヤと当時の聖徒たち  
主イエスと彼を信じた人たちは神からのしるし・不思議（御業の結果）

cf. ヨハネ 17章

①2節 あなたがくださったすべての人に……  
②6節 あなたが世から選び出して与えてくださった人たちに  
③9節 あなたがわたしにくださった人たちのために  
④24節 父よ。わたしにくださったもの（人々）について…

父が御子にくださった権威、栄光、みことば、御名、愛  
御子が聖徒たちに父から受けたものを与えたように  
父が御子はひとつ、聖徒たちもひとつになるように  
父が御子とおられたように、主も聖徒たちとともにいるように  
父が御子を遣わされたように、主も弟子たち（聖徒たち）を遣わす

## V. 結び

(1)私たちは救い（狭義）にあずかっているが、救いの完成（広義）をまだ見ていない      必ず見るという信仰と希望によって今日も前進している

(2)主イエスは私たちを救うために、低く卑しくなられた（わずかの間）  
すべての人の咎を一身に負い、死の罰を受けてくださった  
その贖いを自分のための御業と信じ受け入れるすべての人は救われる

(3)主イエスの謙卑は高举の前提でもあった（栄光と誉れ、万物の統治・支配）

(4)聖徒たちは主イエスのゆえに、神の子とされた  
主の兄弟と呼ばれる（主は恥とされない）

(5)主の兄弟は主と同じようにする

①主の御名（ご性質と御業）を語り告げる  
主はどのようなお方が、何をしてくださったか

②ともに、教会で（信仰者の集まりで）主なる神を賛美する

③父に全幅の信頼をおく

④救われた者たちの存在こそ、神がおられること、神が働かれることの証明である

(6)すべてのものは神から出て、神から来る  
主がすべてのよきもの、必要なものの供給者      ∴神に願い求め祈ろう

(7)栄光はすべて主にお帰ししよう